※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『書Ⅰ』（教育図書）						
副教材等	『書Ⅰ　プライマリーブック』（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・楷書から篆隷行草に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。
・芸術としての書を自身の表現として制作し、自分の気持ちや他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
⑴　所の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
⑵　書のよさや美しさを享受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
⑶　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	**芸術科書道への導入** ・文房四宝 用具用材や拓本について知識を深める。 ・金岡書道 金岡高校歴代の作品を鑑賞する。 ・人見知らんらん♪ 自己紹介を兼ねた作品交換	a：用具用材の特徴と表現効果の関りについて理解している。（知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。（技） b：書写で学んだ字形、文字の大きさ、全体の構成、効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（態）	作品	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート 観察
	漢字の書	**楷書の学習** ・書風の比較 類似した古典、または相対する古典を比較して臨書することで字形や線質の特徴をとらえるトレーニングをする。 ・唐の四大家から北魏の書まで 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛撅造像記 鄭義下碑 ・セレクト6!!!!!! 上記6つの古典の中から1つを選択し、半切1/2の臨書作品を制作する。	a：楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） a:楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表） b：楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c:楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	篆刻	**篆刻の学習** ・書体の変遷 甲骨文字方篆書を経て既習の楷書に至るまでの書体の変遷について学習する。 ・姓名印の作成 校字や印稿作成、執刀法を通して篆刻の基礎を学ぶ。 ・オリジナル印箋 線（黒）と空間（白）と印（赤）による紙面構成を意識して独自の印箋を制作する。	a：日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：書体の変遷について関心を持ち、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。（表） c：自身の表現の意図に基づく表現、篆刻・刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：篆刻のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート	振り返りシート 観察
２学期	漢字の書	**行書の学習** ・行書の基礎 筆画や字形の変化や運筆法など行書の特徴について学ぶ。 ・蘭亭序について 蘭亭序の歴史的背景や書道史における位置づけについて知識を深める。 ・蘭亭序マラソン 筆の上下う運動に伴った線の太細の変化を表現し、即時的に筆順や字形を捉えるトレーニングを通して行書に慣れる。 ・蘭亭序リレー 紙面構成についての理解を深め、クラス全員で一つの作品を仕上げる。相互批評会を通して他者の作品から自らを振り返る。 ・蘭亭序コンテスト 自らが着目した蘭亭序の特徴を作品にする。草稿であるが故の塗抹部分など細部まで鑑賞する。	a：行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） a:行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表） b：行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート グループワーク プレゼンテーション	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字創作	**漢字一字書創作** ・線の変化のトレーニング 筆圧や運筆のスピードを調節し、１本の筆で多様な線質の使い分けをする技術を身につける。 ・字形の変化のトレーニング 楷書、行書の学習で学んだことを生かし、さらに字形の変化のパターンを身につける。 ・紙面構成のトレーニング 線（潤渇の変化を含む）と空間によるバランス感覚を身につける。 ・相互鑑賞会 他者の作品を鑑賞し、自らの作品や制作過程を振り返る機会を持つ。	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） a：漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	伝わる de 書 他者に「伝える」ことを目的とした作品制作。 個々に交通安全、校内美化、人権推進、SDGsなど社会的なメッセージを持つテーマを設定する。 日常に即した高校生のリアルな感性を言語化し、既習の創作における工夫（線質、字形、紙面構成）をふまえて制作する。 ・相互批評会 ・校内展示	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知・表） a：目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b：漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。（表） b：創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	仮名の書	**仮名の学習** ・仮名文字の成立 中国における漢字の書体の変遷をふまえて、平仮名、片仮名の成立に至る過程について、また、草仮名や万葉仮名、変体仮名についての理解を深める。 ・いろは歌 いろは歌成立の背景や歌の持つ意味を学ぶ。そのうえで、いろは歌を自らの生活にあてはめて解釈し、自分なりの世界観を持って作品制作をする。 ・仮名の基礎 墨の磨り方や執筆法など、漢字とは異なる用具用材の扱い方についての知識を深める。また、連綿をはじめとする仮名の基本的な用筆について学習する。 ・蓬莱切 蓬莱切の成り立ちをもとに、「切」や「伝承筆者」など、仮名の書に」まつわる日本独自の書の歴史についての理解を深め、単体を基本とした和歌一首の臨書制作をする。	a：日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。（知・鑑） a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。（技） b：仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。（表） b：仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	鑑賞	**現代の書とは** 近現代の書作品を取り上げて作品の背景や作者、また書表現における表現の多様性や書と美術の関りなど個々に設定したテーマに沿ってについて調べ、芸術における書の位置づけについて考察を深める。 ・プレゼンテーション ・相互鑑賞会	a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知・鑑） b：生活や社会における書の効用について理解している。（表） c：自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート グループワーク プレゼンテーション	振り返りシート 観察
	自由作品制作	**仕上げの書** ・作品制作 １年間の集大成としての作品を制作する。 臨書（楷書、行書、仮名）または創作（漢字、仮名、漢字仮名交じりの書、その他鑑賞の授業で受けた影響による）から自らが表現したいテーマに適したジャンルを選んで制作する。サイズは最大で半切までとし、自由に組み合わせる。 ・作品解説 臨書作品は、選択した古典について調べる。創作については自らが表現した作品テーマについて解説する。 ・相互批評会	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） a：漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） b：１年間の集大成としての自らの表現を工夫している。（表） C：互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。（鑑）	作品	ワークシート	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度